



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、日本国憲法は、とても大切なものだと思います。今はその憲法があるから平和に暮らすことができるというのが分かりました。広島に投下されたリトルボーイという原爆は、約3mもあり重さが4tもあって、そんな原爆が落ちて来たらとてもこわいと思いました。600mも上で爆発したのに地面の近くは3000°Cで、すごくあつくて、ありためて原爆のすごさが分かりました。原爆が投下されると、一回目に爆発したときのしょうげき、二回目に地面にはねかえってくるしょうげきがきて、衝撃波の速さが毎秒440mだからにげるひまがないというのが分かりました。広島に住んでいた35万人中24万人が被害にあい、とても悲しくなりました。さらに約5人に2人死亡されたとのことなので多くの方が被害にあったというのがよく分かりました。もう原爆を投下されないために平和主義は、とても大切なものだとお話を聞いて、心に強くのこりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この間は、原爆のことについてたくさん話してくださり、本当にありがとうございました。

私が印象に残ったことは原爆の大きさ、そして温度です。あんなに大きな原爆が落とされたんだなあと思いました。そして、家や建物があとかたもなくなくなっていてびっくりしました。本当に原爆は大変なんだと改めて思いました。

社会の授業では聞きなかったこと、知らなかったことをたくさん知れて本当に良かったです。候補になった都庁がらみもあることにおどろきました。最初から広島と長崎だと思っていたので、条件などないと考えていました。また、原爆のこと、ほうしゃせんのこと、その後の広島や長崎の様子など知らなかったこと、知りたかったことはたくさんあります。また、この様子をいかにお知らせしてみたいなあと思っています。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受講して知ったことは、原爆の大きさを知りました。原子爆弾を投下されるのには、いろいろな条件があってびっくりしました。他に候補になっていた都市が6つもあったということを知りました。原爆の大きさは3.12mなのに、投下するととてもひどくなるのはすごいいいと思いました。太陽よりもあついと聞いて、とてもびっくりしました。そんなにあつい原爆が投下されて、たずかた人は本当にキセキだと思いました。

原爆が投下された後の人々の姿の話を聞いて、原爆のおそろしさがとても伝わってきました。

広島市の人口は35万人なのに、被爆者が24万人もいて、死者数が14万人もいたことにこれさを感じました。

原爆が落ちたなんキロも先でもたくさんむがいがあったのはすごくびっくりしました。

日本では原爆などのいろいろな事がおきて、たくさんの方がむがいにあっていることを知りました。

一生こんなことになってはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、改めて原爆はかなしいことで、とてもつらいことだと思いました。

原爆は中心の温度が100万℃とすごい力だと知り
ました。この温度で原爆で亡くなった人たちはとてもあ
つくて溶けて亡くなったので見ているだけでも悲さん
なことだと思いました。衝撃き波の速さは毎秒440m
ととても速く音速も秒速340mでとても子供や誰で
も怖かったと思います。原爆先生のお父様もこの体
験をして、げんざいの人たちにかたられたのもとても
すごいことだとも私は思いました。広島県の立派な
建物もあとかたも無くなってしまうこともすごい力
になっていて広島県の40%の人が亡くなってしまい
とてもかなしく思っています。私のひいおばあちゃん
は104歳で東京大くうしゅうを体験しており、原爆
と同じように「助けて」などのひめいがあがったそう
です。このようなざんこくなことがなくなるように
ねがい、亡くなった人たちのようになしい人生で
終わらないように今のような平和な日が1日、1日
でも長くフツフクように原爆、1日、1日大七カ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

に生きていきたいと思いました。

このようなひさんな原火暴の話をして下さりきちょうな
時間、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、原爆の話
 画像などの資料をみて、原爆の
 おそろしさを感じました。あと原爆の被害
 者の様子が体験談を通して、分かりや
 すかたです。そして、原爆は地上から600m
 地点で直径200mの球体にくれあがって
 中心が100万℃ 表面が7000℃で太陽の表面
 よりあつい球体が日本に落ちたのは、
 想像がつきませんでした。くわしいこと
 も知れて、これからは、日本は原爆が
 落とされたゆい一つの国だということ
 とをおぼえて生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは広島原爆ドームを見に行ったこと
があつてボロボロになつた広島県産業奨励
館を見て衝撃波がすごいなと思つただけでし
た。原爆資料館で「リトルボーイ」があつて大
きいなと思つてたんですけれど約47もあるなんて
おどろきました。

おどろいたことは「リトルボーイ」の重さにもお
どろいたんですけれどほかにもあります。たとえば
広島市の人口が35万人で被爆者数が24
万人で死亡者数が14万人にもおどろきました
た。(死亡率40%にもおどろきました。)

原爆を落とされた場所は広島と長崎しか
落とされてないと思つていたんですけれど小
倉に落とされたなんて初めて知りました。

表面温度が7000℃で太陽(6000℃)よりも
暑いなんて1番おどろきました。

広島原爆ドームを見に行つても少し分から
ないところが分かつてよかったです。

原爆先生ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆はとてもこわいものだ”と先生の授業を聞いて思いました。原子爆弾投下都市に 横浜や新潟、京都も候補になっていたことに、びっくりしました。あるマンガで”原子爆弾をラジオゾンテ”(天気などが分かる機械)と間違えて書いてしまったことで、原子爆弾がパラシュートにつるされて落とされたと言われていたのを知り、おどろきました。

太陽の表面温度より原子爆弾の表面温度の方が 1000°C も高く、中心の温度は $100万^{\circ}\text{C}$ までにも達することを知り、改めて原爆は恐いものだ”ということを感じました。原爆が地上600mにある時の地面の温度は 3000°C (鉄が”とける 1500°C よりも高い温度)になっていたことを知り今の世の中では考えられないことだ”と思いました。広島県にいた大半の人たちが被爆、40%の人たちが死亡



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、「原爆は人の命や大切なものをこわしてしまう、危険でヒドイものなんだなあ」と思いました。

そこではじめて知ったのは、衝撃波の速さ、原爆の名前、原子爆弾投下都市の条件、その他いろいろなことをおしえてもらい、よかったです。

また、この授業を受講して、人の命はすごく大切なことをおしえられて、いい授業だったです。

また、「原爆のことについて、もっと知りたいな」と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、改めて、戦争の悲惨さを知りました。本当の実体験をもとに話してください、たので、原爆にかんねんした新しいことをたくさん知ることができました。例えば、候補となった者随府県が広島県と長崎県以外にもあったことです。横浜や京都、新潟にもし落ちたとしても、とても大きな被害となり、その土地の文化や伝統がなくなってしまうと思えば、二度と使えばいけない兵器だとよく分かりました。さらに、原爆は長さ3.12m、重さ4tで、爆発すると、7000℃になったり地面が、3000℃になり、人を一瞬でなくさせることができることを知ったときに、同じく、二度と使えばいけない兵器だとよく分かりました。

このような原爆などを用いた戦争は、二度とやるべきことではないと身にしみえ分かり、これからは戦争はしてはいけないということを主張だけたくさんの人に知ってもらいたくして原爆先生の話を聞いて、思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生へ

ほくは、初めて原爆の話をおもしろく聞いて、話がすこくリアルてこわかったてす。原爆の温度が中心て100万、外側の温度が7000とていう高温にびっくりしました。原爆の表現がこわくて、原爆のむさささがよく分かりました。

原爆の被爆者が24万人とていう大勢の人が原爆によて苦しめられていて、14万人がなくなてしまった原爆は、二度と使てはいけないと思ていました。

この話を聞いて、原爆のことがすこくしに残りました。二度と原爆を使てはいけないと思ていたので、原爆のことを知らない人にこのことを教えてみんなにもと興味をもてほしいと思ていました。特別授業をしてたててありかてうこざいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

私は、原爆先生のお話をきいて分かったことは2つあります。1つ目は、資料を見たり、きいたりして、分かったことです。原爆先生は、広島に投下された原爆「リトルボーイ」(日本語に訳すと、小さい少年)について説明をしているときに、「リトルボーイ」は、約4メートルというので、とてもびっくりしました。なぜびっくりしたかというところ、4メートルは、それが約1メートルなので、「リトルボーイ」は、約4メートル分の重さだからです。2つ目は、原爆先生が話していた物語についてです。その、実際の物語で、でてきた、池田義三^{よしぞう}さんは、とてもとてもかなしくて、つらくて、たくさん、いやな思いをしたことを原爆先生はたたくん語ってくれたので、原爆先生の話をよくしることができました。本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講し、昔がどんなにたいへんだったかわかりました。たとえば義三が見た原爆のせいで人の形にはとても見えない被爆した人が義三にたすけをもとめますがたすけようとしても、ひょうがはがれおちるのを、そうぞうしたただけで、かわいそうだし、すごく義三たちも助けたくても助けようとしたら、相手が痛がってしまうつらさがめちゃくちゃかわいそうで、なしいし、未だたら泣くと思います。昔は原爆などのかわいものがあったけど、今は平木圭があって平木圭が本当にすごいんだなとあらためて思いました。原爆先生今回は私たちのために原爆のおそろしさをおしえてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて、原爆の
ゆきがよく分かりました。特に心に残ったこ
とは、原爆投下都市の話です。第二候補の
小倉は、当時私の親せきが住んでいたそうなの
で、もし落とさずいたら自分はいなかったのだと
思いこわくなりました。また、原爆をおとす
飛行機に乗っていたアメリカ兵も、ふるえ
がとまらなかつたくらい、原爆はこわいのだ
とわかりました。

池田義三さんが、原爆史料館に行ったとき、き
れいすぎると言ったという話では、原爆は、し
史料館に残っているものよりも残さくなのだと
思い、悲しくなりました。原子爆弾は、み
んなの命をうばうだけでなく、生き残った人
まで原爆症でくるませてしまうひどいもの
なので、絶対につくったりおとしたりしては
いけないと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは最初に7000℃の少年というタイトルを見て何が7000℃なのかと思いました。初めて聞いたことはヤけどのせてあるわけじゃないようにもてをななめ前にして歩くというのがちょっとさみで可ビックリしたことがあります。つめはリトルボーイがぼくはついたらひょうめん温度7000℃なのになん夏になたらあつくなる太陽がひょうめん温度6000℃なのでもリトルボーイは10000℃高いということにおどろきました。あとビックリしたことは原爆ドームとしてゆうめいな広島県産業奨励館という名前があるということがおどろいたのと電話局の地下のMLで且力がたかかっているのがビックリした。原爆のおそろしい放射線、衝撃波、熱線がおそろしいです。

ぼくがすごいと思ったところは600m落ちて地面まで3000℃約4000℃が600mのうちに下がっているところが地球のすごいところだった。

広島と長崎に原爆を落とされたのは知っていたが、小倉落とそうとしたのは知らなかった。

原爆先生ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生のお話を聞いて、あの時広島で何かあって、広島に住んでいた人とかどんな苦しみがあったのか。そして長崎でも同じようなことがあったなんて信じられないほどです。広島で24万人の死者数を超え、死亡率が40%あること、そして原爆の後遺症をかかえている人が77万人もいるとき私はものすごく心が痛いのです。

広島に投下された原爆の中心が1100万度、そこから離れた場所にいたとしても7000度の熱におそわれてしまうなんて怖くて夜も寝られなくなってしまいました。

原爆ドーム。原爆があたっても広島産業奨励館は残り今では原爆ドームとして建っていることで私はとてもすごいと思います。そしてもう1つ池田義三達、目の前で見てもらえない悲劇が起こっている。それをいっしょうけんめい活動し「今」の広島を作っているのではないかと思います。それに、このような原爆体験をしたことを語りついでいく。そのような姿が私にとっても非常に感じました。私はこのようなことを必ずいろいろな方に知ってもらいたいと思っています。なので私は「今」を作っている原爆先生もとてもすごい方だと思っています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の話聞いて原子爆弾の本当の力を知ることができました。アメリカにいた時も、原爆のことについて知ることがあまりできなかったので、知ることができて良かったと思いません。原爆で人ではないようになった人達のことを考えると、眠るのすらいかになるのがイメージできました。エフエフのことも聞いたことがなかったのが初めて、知ることができました。リトルボーイは、中に、原子炉などに使用される成分がとてつもない火力を生みだしているというのをみたのですが、中心が100万と、表面は、70000になったことには、びっくりしました。衝撃波の速さは、音速を上回る超音速というのを知りました。それだけでも、人が死んでしまう力があると思うので、原子の力を知りました。今でも、爆弾はつくられているので、このようなことが無くなる日を願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞きとて、恐ろしく
思いました。理由は歩いていると、人ゲンで
ない姿をしていたり、大やけどを負っていた
というので改めて原爆の怖さとより知た
からです。そしておどろいたことは二つ
あり、一つ目は、原爆の表面温度が太陽
よりも1000℃高いということを知りおどろ
きました。二つ目は、その原爆の力です。
原爆はあついただけでなく、空気を熱で
真空地帯にすることができて、そして
空気がいきおいよく真空地帯に入り
とてつもの爆風をつくることに
おどろきました。
最後に原爆先生の話を終えて改めて
原爆の恐ろしく分かりました。なのでこ
れから何十年も日本が同じ目に合わ
ないように、そして他の国も日本のように
ならないような平和な世界になること
を心から願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話聞いて、原爆のおそろしさを改めて知りました。中でも直径200mの球の表面が太陽の表面より、1000°も高い7000°と知った時は、世界一強いばくだんだと思い、それを作り、落とさねてたくさんの方がいやなめにあわないように、佐藤栄作が発表した「核兵器もたが、つくらず、もちこまぜず」の非核三原則としていかなければならないと思いました。

爆心は地から150m 近にいて電話の地下トイレにいて助か、人がいたと聞いたときは、そんな生き残りがあり、生きていてよか、たと思えました。

日本は世界でたった一つの被爆国として原爆を使おうとしている国があ、たらおそろしさを伝えやめるようにし、戦争をやめるように言い、日本自体も、戦争をこれからもやめるようにして、世界平和がおとがえるようにしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生の特別授業を受講して、私が知らない所でこんな怖い事がおきていたと知り、怖くな。たし二度とこんなことおきてほしくないと思いました。でも、もしまたこんな事がおきてしま。たら、今日きいてよかったと思。いますし、聞いておくことで、すぐ動けるし理解していれば自分の身を守れるし人を助けられるかもしれないので特別授業を受講してよかったと思いました。あと、どうして広島に原爆弾が投下したのか、分からなく、最初は京都とい。ていたのに広島が分からな。たのですか、原爆先生の話を聞いて、だから広島にな。たんだと分かり、よかったです。原子爆弾で亡くな。ってしまった人は、いっぱい、いるし、け。しておきないとはか。ぎらないので、今日聞いた事は、しっかりと大切にし。これからも忘。れな。いで過。ごしていき。たいです。最後の動画を見てどのくらい原爆が怖。いかよく伝わ。たし、い。う忘。れたくても忘。れられな。いと原爆先生の父は、い。っていたので、まだ原爆を知ら。ない人。たちもし。てほ。しいという気持。ちになりました。今回原爆先生の特別授業を受講して、とても大切な時間だ。たし、原爆をくわ。しくし。れて、よ。か。た。です。原爆のことについて教。えて。く。だ。さ。り。あ。り。が。と。う。ご。さ。い。ま。し。た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7000℃の少年を聞いて思ったこと、池田 義三さんの話について、
です。7000℃の少年を聞いて思ったこと、戦争にあたる全員、
ひるが焼けていて、かみの毛とか、ない方が、いると、聞いて、
おどろきました、おれな話だけど、本当に、ある話で、池田 義三さん
みたいに、つらい思いをして、生き残った人も、います、

池田 義三さん 17才で、行って、みんなのつらい顔見て、助け
たい人も、助けられない、つらい思いをして、いたのが、心に、残り
ました、原爆症で、せくなる方が、多いそう、私は、聞いたこと
がなく、原爆症は、怖い、な、と、思いました、

私は、考えるだけで、怖いのに、池田 義三さんは、思ったこと
を、行動するの、が、すごい、と、思いました、

最後に出てきた、人形、私は、あんなに、ホロホロ、になる
物を、初めて、見ました、けれども、池田 義三さんは、「きれい」とい
って、私は、池田さん、戦争で、がんばって、生きた人しか、分かん
ない、ことだと、思いました、

私は、これから、戦争にあつては、いけないので、みんなが、
戦争の、なくす、ような、行動力を、考えられたら、いい、と
思います、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、原爆はあつた
めて、怖いなものだと思います。

「皮ふが垂れ下がる」など、なにもしていない国民が「ぎせい
になるとはざんこくで、こんなことは二度おこさない
でほしい」と思いました。

リトルボーイ(原爆)が7000℃で太陽と同じくらいの高
度だと聞いて、とても熱そうだと思います。

最後に池田義三さんが「いっていた体験に原爆
ドームに飾ってある人形を「きれいすぎる」と言っていたのが、
これだけ激しいものだったのかと気が振られました。

被爆者が70%というのは、すごい被害がおよんだ
というのは、激しいものだと思います。

本の題名にもなっている「7000℃の少年」というのは、
原爆のことなのだと思います。

このようなことは二度とおこってほしくないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原火暴先生の話を聞いて改めて
原子力火暴弾の小布さを失いました。

広島の人口のほとんどがまきこまれ、40%の
人が死んでしまったという原子火暴弾におどろき
がくせませてした。

600mで火暴発した火暴弾は、表面が
100万℃にもなり200m以内の人は、ほとんど
皮がただれて、油が落ちていました。

よしろうさんは、それをあのあたりにながら
一人でも旦那かけようとした勇気に感
動しました。

原火暴は、衝撃波、熱、放射線の
3つのおそろしい力をもった火暴弾です。

いつか世界がかくをもたない社会になっ
てほ
いてです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、今回の原爆先生の特別授業では、分かったことが2つ、思ったことが1つほどあります。まず分かったことの1つ目は、最初、始め七千度の少年というのを見て意味がわからなかった。だけれども池田さんのお話を聞き、その題名の意味は広島に投下されたリトルボーイ(小さな少年)というのを聞き分かりました。もう一つ分かったことは、原爆の怖さです。その理由は、原爆により亡くなった人たちの人数や原爆の中心部分が100万℃、表面が7000℃で、地面に向かって3000℃もの放射熱です。3000℃の放射熱を浴びると、考えると怖くなったので、原爆に恐ろしいなどではあらわすことができないと分かりました。最後に思ったことは、何故原爆を語りつげなければならぬのかは、どうしてかと思いついてみると、これほど悲しいことは語りつげなければいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆のことを知って、これを体験した人がこんなにもつらい思いをしていたのだなと思いました。そして、原爆先生も体験した人のようにとてもくわしく教えてもらいました。広島に投下された原爆の名前やその原爆の速さまで教えてくれたり、広島はどこに投下されたのかも教えてくれました。広島に原爆が投下され、放射線・放射線を浴び、原爆症という病気まであるなんて知らなかったなので知れてよかったです。そして、7000℃の少年の意味は多分、7000℃は原爆の温度のことを示していて、少年は池田義三さんのことを示しているのではないかと考えていました。

これからどんな所でどんな出来事が起きたのか知りたいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

おたしは、原火暴先生の話を聞いて思、たことは、
原火暴が直径3.2m、重さが約4tもあることび
くりしました。広島市の人口約35万人の中から
もなくなり、死亡率40%のこやび、くりしました。

原火暴をおとす候ネ南に京都がはいり、アメリカの大統
令百が「京都は日本の文化の県だからやめよう」てきめて
ちかう都道府県におとす必要ないと思ひました。

二回目の原火暴を長崎県におとす必要ないと思ひ、
ちかう場戸所におとしていてもよいことは全く
ないものだと思ひました。

原火暴先生の話を聞き、広島がこんな
めにあてのり、え今のおりにな、てすごい
と思ひました。

今回はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて原子爆弾はものすごく怖く多くの命をうばったのだと初めて分りました。
 ぼくは塾にかかっているので原子爆弾がどこに落とされたかという事は知ってましたが原子爆弾の力は知りませんでした。また原子爆弾が爆発した時の温度は太陽の表面温度より1000℃も高く、防火用の水もほとんど水が蒸発して、いたし衝撃波で建物がこわれてしまったことが怖かったです。
 この授業が原子爆弾の恐ろしさを実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日は、原爆の恐ろしさを教えていただき、ありがとうございます。今まで、先生がおっしゃった事までひどくはないと思っていましたが、甘い考えだった事がわかりました。原爆の恐ろしさを知った今、恐くおぼれなくなりました。

いつも通りの広島に、とつぜん表面温度7000℃、中心温度100万℃の玉球体が落ちて来て、人々が一瞬にして消えてしまう。そんな事を知って、このようなおぼろげな事を二度と犯さないために、僕らは戦争がなく、このような悲劇のおきない世界を作って行きたいです。

よしろうさんは、被害にあった人々をまのあたりにして、くやしい思いをしていました。言っても彼の置かれた状況であれば、同じ思いをしたと思います。僕はほかの人にも、その人たちに何もできずにいるよしろうさんもおおいそうだと感じました。

今回は、恐ろしさを知りいい経験になったと思っています。後世にもこの恐ろしさを伝えるため、いつまでも覚えていきたいです。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話聞いて原爆について色々
知ることができました。私も知らなかったことが
あります。例えば、池田さんが18歳で兵隊に入っ
て広島に行き訓練をしていたことがとても立派
ですごいなと思いました。原爆で被害を受
けた人の気持ち伝わりました。また、被害に
あわなかった人たちもいたことに対してとても
びっくりしました。原爆は太陽よりもとても
あついこともわかり、他にも原爆を落とす場所
には他にもたくさん候補になっていた都市も
あり、その原爆を落とそうとした都市の条件な
ど細かく色々なことについてアメリカは考え
ていたということもわかりました。
色々なことを知ればよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は原爆先生の話を聞いて思ったことは、まず戦争の悲惨さです。戦争を封じ込めなければ、原爆をおとされることも死者もでなかつたと思ひます。つぎに原爆の恐ろしさです。太陽より高い温度なのに、それをちかくで焼いてひんがただれてしれて肉がみえるまでにしたことです。兵隊さん助けをきいて自分もとておがなくなりしました。それにどけまでとおくにしても瀬戸内海に爆風がどいたということが恐ろしいです。つぎに放射線の威力です。今でも原爆のせいで苦しんでいる人がいると思うと胸がいたみます。僕はもう戦争をおこしたくないし、昔のことも忘れたくありません。やっぱり原爆先生の話を聞いて、さらに戦争がよくないことが伝わってきたのでとてもよい勉強になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆が広島に落ちたということは知っていました。でも原爆のいかについては、原爆によつて亡くなった人たちの対応を行っていた人たちがどんな思いで、どんな光景を見ていたのかは、知りませんでした。

原爆ドームがもともと、広島県産業奨励館だったことをしり、原爆のいかは、とても強いと思いました。また、京都や横浜にも原爆がおとされるかもしれなかつたと聞き、今では観光地として、発展している都市もこうほになつていたなんて...ととてもおどろきました。兵隊の人たちが、けがをした人たちをひきあげる時皮らが、はがれてしまつたり、もえることによつて、人間の形ではなくなつてしまつたりと想像以上の苦しみを被爆者の人たちは経験したんだと感じました。

そして、生きのびた人も原爆症により苦しい思いをしたのだということからや、はつち原爆はおとされた後も人々を苦しめるおそろしい兵器だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、原爆は怖いと思いました。一つ原爆をおとしただけで、広島の人口35万人のうち、24万人が被爆し、そのうちの14万人は死んでしま、たからです。エノラ、ゲイには4つの原爆をのせ、3000kmもはなれた日本におとされました。どこに投下するのか条件を考えたり、候補を6つもつくり、そのうちの2つにおとされてしま、て、被爆した人も多、いと思います。広島24万人のうち14万人は死んでしま、い、あとの10万人のほとんどの人が原爆症にな、てしま、いました。広島に投下された「リトルボーイ」には、小さな子、や少年といういみかあり、「7000℃の少年」の7000℃の方は高さ600m投下された原爆の温度で太陽の6000℃よりもあついで話していた通り、肌がやけどでむけたりするのはいたそうでした。原爆の話をきいて、もう原爆とおとされることか、な、いようにしたいと思、ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、
原爆は多くの人の命をうばうとてもこわい
ものだということがすごく分かりました。

原爆は、広島と長崎だけではなく、京都や
小倉、新潟、横浜もこうほにされていたの
は知らなかたのでびっくりしました。

また、原爆は太陽よりも熱くて、200m
もの大きさがあることを知りとてもこわが
たです。(しょうげき波は440m/秒で音の
速さの340m/秒よりも速いことや被爆者が
広島市の人口の半分以上もいて死亡率が40%と
いうことなどが知れてとても貴重な体験
になりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、原爆の恐ろさを改めて知ることができました。ぼくが一番おどろいた事実は、原爆の温度は外側で7000度もあったということです。これは太陽の温度の6000度よりも1000度熱いことも知りました。池田先生は、原爆が落とされることを太陽が地球の地面寸前まで接近することに例えたので、一層こわくなりました。また、池田先生のお父さんが経験したことを聞くと、原爆の投下は、とつぜん起こったことで、誰も予期しなかったことだと知りました。原爆の投下によって、1秒前までごく普通に暮らしていた人があと言いつきに形がなくなってしまう人になることができませんでした。

ぼくは先生の話をして、いかに戦争が残ることかを知り、ましては、一瞬間で人々の命をうばうことができてしまう原爆は、二度と使われてはいけない物だ、と改めて思うことができました。ぼくは、今回の特別授業もきっかけに、原爆のことをもっと知る必要があると思いました。「7000度の少年」を売ってみたい。今回の特別授業本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、まず思ったことは、原爆は怖いということです。

また、被爆者、そして亡くなってしまった家族の人々がとてもかわいそうでした。

原爆のあつさが、太陽よりあついと知って、原爆が今来たらと思うと、手がふるえました。いっしょに、この時代に生きていなくて良かったと思ってしまうました。

その後、罪悪感が生まれました。原爆の実験をやった人達は罪悪感が生まれなかったのかというところが不思議に思いました。

展示されていた被爆者の姿を見た時、言葉を失うほどいたいたしかったです。

今なお、実験を行っている人達には、やめてほしいと思いました。そして、再度、避難訓練は大事だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは授業を聞いて戦争原爆がどんなに
哀れで悲惨な事が改めて良くわかりました。
原爆というのは、人を一しゅんで焼
き殺すとても恐ろしい物だと思
いました。

ぼくは授業を聞いて二つ驚さま
した。一つ目は、熱についてです。
原爆の熱は、骨も焼きかけしか残ら
ないほど熱がたという事がわかり
ました。

二つ目は、放射線です。原爆の
熱で亡くなった人も大勢いましたが、
それ以外で放射線により亡くなった人も
大勢いると思いました。また後遺症
にかかる人もいて原爆は人に深い傷
を負わせる物だと思いました。これ以上
こんな事が無いように思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今までは、原爆のことについて少ししか触れていませんでした。しかし、今回の授業で深く知ることができました。原爆が落とされるまでの経緯や原爆によって亡くなった人々など、色々なことを聞けてよかったです。特に、原爆の威力の場面では球体の部分の温度が太陽の表面温度を超えているということや、原爆が投下される時に発生する衝撃波の速度が音速を超えることまた、広島県内の70%の方たちが被爆されました。またことにおどろきました。昔の日本は戦争があったということをもっと深掘りできたことにうれしく思います。同じ日本人として、昔あつたことを知り、それをこれからにつなげていくことは大事だということを感じました。ぼくが思うに、戦争は「悪」というイメージが大嫌いです。それは自分の国を守り抜くということも戦争には含まれていて、決して完全な悪ではないとこの授業を受けて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆で体中がけとした人がいたと聞かされた
です。衝撃波や熱線放射線です。死んでしま
た人がかかっていた。これから戦争がない世界に
したいです。自分が原爆の被害を受けたらと思
う痛さで。このかたです。原爆の被害を改めて
知りました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、絶対に二度と戦争を起こしてはいけないと、強く感じました。原子爆弾投下の条件をスったり、いくつかの都市の候補をあげたりしていたことから、かなり本格的な作戦(戦略)をたっていたことが分かり、おとろきと共に、怒りもわいてきました。14万人もの人々が犠牲になったことも悲しいけれど、被爆者たちの対応を任せられた軍のおみなさんもかなり苦勞されたかと思っています。

原爆先生のお父さんが広島原爆資料館でつぶやいた、「きれいすぎる」という言葉が、私には分かりました。実際見るものと、再現したものでは、全く違います。実際の怖さやつらさは違ったので、お父さんは女性のことをきれいすぎる、とおっしゃったのだと思います。

信じられないようなことで、怖い体験ではありませんが、このようなことが実際に起こってしまったことを忘れずに、未来の平和に生かすために、きちんと受け止めていきたいです。たった一つの原爆で数多くの命をうばったこの出来事は、重く受け止めて、おみなさんにも真剣に考えていただきたいものだと心でも感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業の前半で、原爆の被害にあつた人の姿が言葉だけでもうるえしてしまうくらいですが、それを目の当たりにしたら、それだけではすまないのではないかと思いました。そんなことをした原爆がもう二度と作られてはしくはありません。また、特別授業の後半の部分で先生が言っていた本の題名の「7000℃の少年」の意味が分かりました。少年は広島に投下された原爆「リトルボーイ」のことで、7000℃は原爆が爆発した時の表面温度のことだと思います。このようなことは今後絶対に起こってほしくないです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は原爆先生の特別授業を受講して広島に原爆が落とされたとき住民はどんな人をしてたのかどこまでなんしたのか分かった、原爆ドームは昔どんな形だったか昔から気にな、ていたのて知ることかできよかった

自分は、衝撃波の速さ、原爆が落とされたときの広島はどれくらいのあさだったかが分かった

原爆先生の話をきいて分かったことは、原子爆弾はおそろしいものということが分かった



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆についてあまり詳しくありません
でした。今日のお話を聞いて原爆はおそろ
しいものだと思いました。

原爆についていろいろと詳しく教えて頂き
本当にありがとうございました。

2018年5月1日



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、昔の人の気持が分かりました。

それは、原爆先生の本、「7000の少年」の一部を聞いたときの原爆先生がおちた時の爆発音でビックリしたところから。

こんかいの授業を受けて、原爆先生が本当にわいにかわりました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生から、広島原爆の話を聞いて、かわいそうで怖く感じました。なぜなら、トラックに乗せるため手をとったら、皮ふが、ずるとはかれおちてしまうことや、衝撃波の速さがとても速いことなどです。また、川の水も全て蒸発し死体があると想像するだけで、かわいそうと感じます。それが、2ヶ所あると感じると、ぞっとします。

原爆の表面温度の7000℃は太陽の表面温度の6000℃よりも高いと知ったときはおどろきました。7000℃より低い3000℃でもあたらたら死んでしまうのはあたりまえですが、その熱さに巻きこまれてしまった人々がかわいそうです。

私はもし原爆に巻きこまれたら、今では原爆ドームとなった広島県産業奨励館の地下に行くか、爆心地から少しでもはなれるため、走ってにけたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆先生の話を聞いて、8月6日に広島に原子爆弾が落とされたことがとても悲惨なことだったか改めてわかりました。

原子爆弾はマリアナ諸島のテニアン島というところから4つの重さのあるB-29エノラ・ゲイが出發して、そのエノラ・ゲイはチバート大佐の母の名前であることがわかりました。

今までは原子爆弾によって皮膚が垂れ下がるのは知っていましたが、600mで原子爆弾が投下されたら地面が3000℃になるととても熱くて、私だったら耐えられないと思いました。

原爆先生のようにこのような授業を通して次世代の人にも原爆のことを知ってもらいたいと思います。

今の時代には日本では戦争がよいことがとても平和で良いことがよくわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、原爆
というのは、とても怖いことだなと思いました。
私が一番印象に残っていることは、被爆者が
兵隊に「助けて、助けてください兵隊さん」と
小さな声で言い、皮膚がズルッと体からはがれ
てしまうというとてもゾッとする本当にあつたこと
です。その事を始めて聞いた時鳥肌が立って
しまいました。原爆で5人に2人が亡くなってし
まい、原爆が落とされて、一瞬で黒いすみのように
消えてしまう人もいました。また、現在も原爆症で
苦しんでいる人もいることも知りました。
原爆が落とされてから数日後には、広島市の原爆
投下地点の周りが、灰色の世界となり、現在は
原爆ドームとなつた広島県産業奨励館は、
上のまわり部分が骨組みだけになつた原爆
ドームからと、とてもはげしい爆弾が落とされたと
わかります。私たちは、平和な時代に、生まれ
たことはとてもうれしいことだと思います。もう
2度と原爆はおこってほしくないです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて、自分が今まで読んだ広島に関する本の
どれもリアルで当時の現状がとてもわかりやすかったです。

去年に「はたしのけん」をよんで、広島に行くと、とてもおかしさを受けました。

実際に見てみると原爆の威力が伝わってきてこの出来事は風化してはい
けないなと思いました。

今は当時のことを知る人も減っているのに日本の広島が体験した
出来事を伝えていきたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を聞いて、ものすごく怖くなりました。

あのころに生まれていたらきっとたえられなくなっていると思います。

だから、今のこの時代に生まれてよかったと思います。

広島市人口35万人

被爆者数24万人

死者数14万人

死亡率40%という

5人に2人が亡くなるといふと聞いてもし、ぼくの友達がいなくなるとたまたまおれなれないと思います。

そこにいた人達は、またくるのではないかといい、その日は寝れなかったと思います。

600m上で原爆が爆発した。

原爆症にがかるといふと亡くなっている人がいる。

いまも苦しんでいる人がいる。

もうこんなことがおきないでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は受講して改めて、戦争の恐し、人間の命の大切さに気付きました。

先生が義三さん視点で話を進めていくたび当時の場所にいるようなリアルといかととも話が心に響きました。

中3の兄が受講した話を受講前日に聞いたのですが、そこまで現実ばなれしている話があるとも信じがたい僕の油断のおなものを先生の話で一瞬にして油断を消し、恐怖しかのこらないような状況に変えました。原爆投下の時の音が被爆者の姿が伝ってきて脳に焼きつきました。

受講後、改めて命のもろさにとともかないような気持ちになりました。

義三さんの実際の映像をみてどう被爆者の姿が残酷だったのだろうと思わされました。

貴重な時間を使い僕たちに命の大切さを気付かせてくれてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/5

私は原爆について、あまり知りませんでした。けれど今日のお話を聞いて原爆がとても簡単に、多くの命を奪うのを知り、心が痛みました。池田義三さんが原爆資料館を訪れた際、女の人の人形を見た時「きれいすぎる」とおっしゃっていたというお話が一番心に残っています。私達にとっては人形を見るだけでもすごくびっくりしたのにそれよりも、とひどいものだったと聞いたからです。また、義三さんは被爆者を助けたくても、助けられないというもどかしさや悔しさ、悲しみがあったと思います。そして、たくさんの人々を犠牲にする原爆を落とさないといけなような戦争が起きたことも残念に思います。これからは、そのような戦争がない世界になってほしいなと思いました。

このような、大切に後世に残していけないといけないうち話を頂き、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受けて原爆の大変さを知りました。

原子爆弾は直径5kmを超え、平野であり、これまで空襲がなかった都市に役下する条件がありました。候補された都市の中でも一番強くおこしたのは京都でした。理由は、ほかの交差点が考えられると予想されたが、でも京都には日本の大切な神社や寺がたくさんあるため候補から取り消されました。

広島に役下された原爆は、3.12m、重さは約4t、毎秒440m、音速は340mもありました。熱さは7000℃もあり6000℃の太陽よりも熱く、むしかはがれおちてしまいました。

爆心直下でやねはほとんどなくなり、かへもなくなってしまうほどのいやな状態でした。

広島市の人口は35万人だったのに原爆で24万人の人がなくなり、死亡率は40%、5人に2人が原爆でなくなってしまうことが分かりました。

これから原爆のような争いが起こらない世の中になつた方がいいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して原爆は自分たちか想像していてもはるかにかわい物だと実感しました。それとなぜアメリカは広島と長崎に原爆を落としたのか疑問に思いました。

広島市民の90%が被爆者の40%が亡くなったというのにもとてもおどろきました。原爆の威力にとてもおどろいたのと同時にこれからはこのような事はあきてほしくないと思いました。また原爆の周りや中の温度が大陽の表面の温度よりも高い事にもとてもおどろきました。これからは原爆をなくしていきたいです。原爆先生特別授業をしてくれてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受ける前は、原爆。名前が聞いたことあるけどなにが分からなくて、他人事だと思っていました。授業を受けた後は、原爆のことを知り、他人事ではないのだなと思いました。

後、候補になった都市に、広島、小倉、長崎の他に横浜、新潟、京都が入っていてとてもびっくりしました。もし、広島じゃなく横浜や新潟、京都に落とされたら、どうなってしまうのか、今の生活ではなくなってしまうのではないかと思い、不思議な感じがしました。

池田義三さんは、優しくて、すごいなと思いました。理由は、21歳で本当は、陸軍に入るのに17歳で、陸軍に入るなんてすごいなと思いました。

あと、御幸橋手前で、男の子に呼び止められ、焼け跡のなかで17歳くらいの女性の手当をしたのが優しいと思いました。

なんでアメリカなどちがう国は、原爆を投下し、罪のない人々を傷つけたり殺しては、たのたろうと思いました。戦争や原爆投下は、やっても無にもいいことがない。辛い気持ちになるだけなの戦争は、二度やるとは川ないとおぼろげに感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して真先に思ふ事は、戦争は自分が思っているより怖いものだという事です。最後、広島原爆資料館に展示されている被爆者の人形を見ただけで、私はふるえが止まりませんでした。しかし、その後の池田義三さんの「きれいすぎる」という言葉を聞き、私は言葉を失い、原爆の威力を思い知らされました。

他に驚いたことは、原爆の熱さが表面だけでも太陽の表面温度より1000℃高いということです。太陽の表面温度は6000℃で、原爆は7000℃です。原爆が投下されるということは、空から太陽が落ちてくるよりも恐ろしいことなのだとも知り、とても衝撃でした。

池田さんの話の中に、17・8歳の女性が足をけがしていたとありました。このように、戦争では、全く関係のない人々も被害にあい、苦しみます。いつか、このようなことがなくなり、戦争で亡くなる人、被害にあい苦しむ人がいなくなると、平和な世界になってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

すごい、悲しかった。耳に聞きたくもない言苦もあったけど、それを実際祭にけいけんした人ほどのように感じたんだろう。自分がけいけんしたくもない苦しみをどのようににたいていたのだろう。まるでいきなり地獄にいったようだろう。太陽の温度が6000℃。当時の600mのところが100万℃。太陽の何倍もある熱さをけいけんした人は、気づかないうちに命がうばわれてしまったのだろう。太陽が地球にものすごく近づいていたとき、人々はどのくらい苦しんだんだろう。わたしたちは、それをけいけんしたくもなく、見たくもない。なのに、当時の人々はけいけんすることになった。一つの爆弾で何万人もの命をうばうことになってしまった。しかも、75年にもなる今でも原爆の苦しみをけいけんしている人はいる。これをまなんだ、我々は戦争なんてこの世にいないものだと感じた。戦争のような争いの世いで何の関係もないふうふうの人々の命をうばう。自分の国をまもりながら、自分の国を前に進ませることが大切。なのに、まだ争いをしている国もある。そういう戦争なんかして命を落として争いごとを向かえる。ついで、千何百の世界をみんなで泣く

人生を
送りたいの
だろう..



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受講して、原爆が広島の人々に与えた苦しみを知りました。

私だったら、自分は何も悪いことをしていないのに、何で、100℃をこえる熱湯で殺されたり、あとかたもなく消え去ってしまうなんて、絶対に嫌です。ひどすぎると思います。また、そんな苦しみを人々に与えたのは、ただただ原爆の威力をたしかめたかっただけなんて、理不尽すぎると思いました。

でも、そんなアメリカ軍が人でなしという言葉じゃなくて、「エノラ、グイ」というお母さんの名前を軍機につけたように、アメリカ軍兵にも大切な人はいるし、きっとその人々が日本軍に殺された人もいると思います。

こんな風に、両方とも苦しい思いをして、悲しい思いをして、兵隊も、普通の人にも、辛い思い、つめあとを今もなお残している単戔争は、何のためにあるのだろうと思いました。

でも、まだ今も、きっと戦争をしている国もあって、苦しい思いをしている人もいます。

私は、その戦争をしないさせない人になりたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆についてのことで一番びっくりしたことはその「速さ」です。原爆の衝撃波の速さは音の速さ(340m/秒)よりも速い440m/秒だと分かりました。普通に会話をしているも口の動きと声が同時なのでそれよりも速くなると...と想像するだけで恐ろしくなりました。また、原爆が日本の広島に落ちたときの被爆者数は24万人で死者数は14万人。広島市の人口は35万人なので市民の中のほぼ全員が被害にあっていることが分かります。その2つのことから私は日本の歴史に原爆が名を刻む理由が分かった気がしました。二度とこんなことが起こらないように、これからの日本を私たちが支えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/6

原爆先生の特別授業を受講して、色々なことを思い、考えました。まず第一にこの悲しく許しては、いけない出来事を後の世代へと伝えることで、風化させては、いけないと思いましたが、後の世代に伝えることで、どれだけ戦争や原爆が、いけないことで、苦しく辛い思いをするとなのかを教えて、戦争は、絶対にいけないこと、という事を知り、もう二度と戦争をおこさないように、第二次世界大戦が最後の戦争になるようにすることが、私たちの世代の役目だと考えました。第二に、心に残ったことです。被爆して、全身大やけどを負い、苦しみなから亡くなっていく景色を想像すると、どれだけ原爆が、ひどいものなのか、深く伝わってきました。そして、広島市の40%の方々が亡くなったことにとってもおどろきました。「7000℃の少年」というのは、リトルボーイのことだと考え、苦しかったです。せつな
の間に、多くの命をうばった原爆をつくったのは、年代は違えど私たちと同じ人間です。その人間として私たちは原爆や戦争のおそろしさを、伝えてゆこうと強く思いました。先生の受講に感謝しています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで、原爆についてよく知りませんでした。ですがこの特別授業を通して、原爆のこわさや被害の大きさを知っていて悲しい気持ちになりました。爆弾が落ちてあつ結果を確認するために写真をとったり、被害が大きいのが現実な土地に落ちていたり、どうしてみんなにひびくことをするんだろうかと思いました。それに、日本の兵士の人達がいたことを知ったり、もやしたり、みんな気持ちだつたんだろうか考えただけで胸がいたみました。けれど、今では原爆が落ちてくることはない、同じような経験をする人もなくて、おそれないと思います。でも、だからといって過去におきたこの様な出来事を忘れず、二度と同じことがおきないように私たちがひびく力が強い意志をもっていくことが大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは以前ひいおばあさんが原爆を体験したことを教えてもらったことがあります。そのときは言葉だけだったので原爆の怖さがよく分からなかったのですが原爆先生に教えてもらったときは画像や資料もありより怖さが伝わってきました。

特に印象に残っていることが原爆が爆発したところの表面が太陽の表面よりも熱いことです。また地面には3000℃にもなるぐらいの温度になることもおどろきました。もし自分の周りに原爆が投下されたら3000℃になる温度で自分に生きられるか分からないので生きられた人はすごいなと思いました。

戦争は1瞬間にして人々が亡くなってしまうおそろしいことなのでもう2度と戦争が起ささないでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆についてはマンガなどで少し知っていたが、実体験をした人の話を聞くと、とても悲惨だったことが分かりました。

原爆先生の話を聞いて、おどろいたことは、まず原子爆弾は、地上600mで爆発すること、火暴弾の表面温度は太陽の6000℃に対し7000℃だったということです。次に、原爆の被爆者たちは、即死ではなく、全身やけどし、内臓までもが焼け焦けて苦しみながら亡くなっていくという無惨な死に方だったことです。

僕は、原爆先生の話を聞いて、戦争の恐ろしさや被爆者たちの悲しさを知りました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、第一に、原爆そして戦争は、ひどいことだと思いました。特に、被爆した人が人ではないような容姿をしていたり、爆心地の近くにいる人は、焼き尽くされて消えてしまったという中には、本当に原爆は怖いと思いました。そしてアメリカ人はよしもこんなことができるのかと思います。そんなことをさせるようにした戦争はひどいと思いました。また死体を42倍して焼いた軍兵士たちは、おもしろいことだと思いました。そして鉄が溶ける温度の2倍、音速をこえる速さの衝撃波そして放射の力を持つ原爆が600mの地点にあるということが信じられませんでした。この原爆で14万人が死亡し24万人が被爆し、2万人が蒸発しました。たまたまということにもおそろしかったです。これから二度とこのような原爆がおきないといいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

わたしは、原爆先生の話を聞いていて、
目をつぶって、聞いていたのですが、想像
して聞くと、すごいなみだかであるほど、
胸が「キュー」と締めつけられたみたいで、
だく苦しくて、池田さんのめせんでみていく
とどれたか「助けてたい」と思っているのに、
助けられないこの 悲しい、苦しい思い
を、おしこらして、命令を聞いてやっている
池田さんのことや、ひかいをうけた人めせ
んになっていくごとに、どちらも、なみだが
出そうになるほど、すごいざんこくで、だって、
「助けてたい」という気持ちがありながら、ひら
か「どんどんおちていき、助けられるじょうた
いがないし、それを見た後に、いたいのしよりを
する、どんなに、なみだをこらえて、がんば
たって、私には、もしその場にいたら、しよりもで
きず、たちつくしたままで……。池田さんは、すごい
と思いました。そして、なくなったことを、
おくやみもうしあげます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が爆発したときの温度が100万℃というのがすごくおどろきました。
原爆の衝撃波の速さが毎秒440mなのも科学兵器だということを実感しました。
この原爆により、死者数が約14万人、5人に2人が死亡、というのを聞くと私は体験していませんがなんともいえない悲しい気持ちになりました。このようなことが二度とおきないように原爆をなくすといううごきはすごく大切だと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

10/7

原爆先生の特別授業で原子爆弾のことにフリーズして聞いて、はくたんの早さが毎秒440mで、はくはつしたら、しゃうりにひるがることになりました。

候補になった都市(はくたんと落とす場所)は、最初は京都に落とそうとして、ぎめたり(ふるいたてものなびがあるから)そして、広島ならいけるよ、いきなりかえたりしたりするのでいきなりだと、こわいなと思いました。

また、その広島に落とされたはくたん「リトルボーイ」(小さな少年という)は約4tあり3.12mの長さがあり、このはくたんがおちてきたら、と思うとぞっと思いました。

はくたんの、あつさは太陽よりも高い7000℃(太陽の温度6000℃)、こんなにあつたのでたてものがすぐに燃えてしまうそうです。

このようなことで、わたしは、あらためて、はくたんはおそろしいものだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて、原子爆弾の恐さを改めて知りました。

一番印象に残ったことは原子爆弾投下都市の条件でした。直径5kmを超える平野であること、それまで空襲が無かった所という条件を満たしては、また広島と長崎に原爆が投下されたということ。そんな条件で広島と長崎は、ごせいになり、住んでいた人々は日常の生活をうばわれたことにくやしい気持ちになりました。

アメリカにいた時、学校で原爆の話を聞きました。その時日本人としてショックをかくしきれませんでした。が、表に感情を出すことが出来ずに辛かったことを覚えています。原爆は人々から全てをうばうおそろしい物だと思いました。

アメリカは日本よりも色々な人種の方が暮らしています。おたがい仲良くすることによって、戦争や原爆投下のあやまちを正そうとしているように思います。国をこえて皆んな仲良く暮らしていける世界になってほしいと思います。